

1月の給食だより

令和7年度 1月号
中央区立中央小学校
校長 荒川 比呂美
栄養士 加藤 菜津美



あけましておめでとうございます

冬休みが終わり、いよいよ3学期が始まりました。昔から「一月往ぬる二月逃げる三月去る」といわれてきたように、年度末に向けて月日が流れるのを早く感じる時期です。風邪やインフルエンザも流行していますので、体調管理にはより一層気をつけて、1日1日を大切に過ごしてほしいと思います。

1月11日は鏡開き



お正月に飾った鏡もちを「開いて」お汁粉などに入れ、無病息災を願う日本の伝統行事です。鏡もちを包丁で切るのは、武士の「切腹」を連想させるため縁起が悪いとされ、代わりに「割る」ではなく「開く」という言葉を使います。

中央小学校では、1月13日にお汁粉を提供します。
ぜひ楽しみにしてください！



1月24日～30日は、全国学校給食週間です！

学校給食の始まり

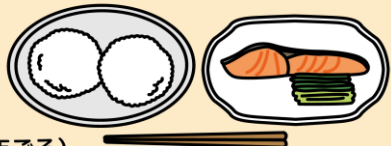
明治22(1889)年、山形県の私立忠愛小学校で貧しい子供たちへ食事を提供したのが始まりとされています。大正12(1923)年には子どもたちの栄養状態を改善するための方法として、学校給食が国から奨励されるなど、各地へ広がりましたが、戦争による食料不足で中止せざるを得なくなりました。

おにぎり

焼き魚

漬物

(明治22年ごろ)



五色ごはん

栄養みそ汁

(大正12年ごろ)



支援物資による学校給食の再開

戦後、子どもたちの栄養状態の悪化を心配する声が高まり、昭和21(1946)年12月24日にLARA(アジア救援公認団体)から給食用物資の寄贈を受けて翌1月に学校給食が再開しました。

ミルク

トマトシチュー

(昭和22年ごろ)



コッペパン・ミルク

クジラの竜田揚げ

せん切りキャベツ

(昭和25～30年ごろ)



バラエティー豊かな献立内容に

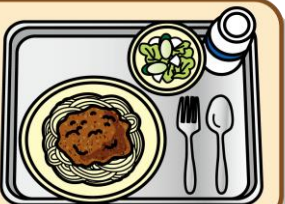
昭和29(1954)年に「学校給食法」が成立したことで、学校給食は教育活動として位置付けられるようになりました。主食はパンが中心でしたが、昭和51年にご飯が正式に導入されると、カレーライスや炊き込みご飯などが登場し、献立内容が充実していきました。

ミートスパゲッティ

牛乳

フレンチサラダ

(昭和40～50年ごろ)



カレーライス

牛乳・塩もみ

ゆで卵

(昭和51年ごろ)

